

8 都市は変動する。その制御は必要か、また可能か（有機体としての都市）2003/6/21

1 都市は変動する

- 1) 都市は生き物であり、新陳代謝を行い、常に変動する。（都市有機体説）
- 2) 変動は外部的要因と内部的要因によって生ずる
- 3) 文明のシステム・人間そのものが都市を変動させる原動力になる
- 4) 都市という存在は、空間・社会に加えて時間によって構成されている。

2 都市は自然に発生するか？

- 1) 都市は人間によって造られ、自然に発生するということはない。
- 2) 集団意思よりも、個々の任意の行動が優先したとき、比喩的に「自然発生」という。
- 3) 変動する都市は、常に「自然発生」的な都市を出現させ、姿を変えている。

3 都市を変動させる要因——潜在欲求——私的レベル⇒法人レベル

- 1) 経済的利益 ①今日の一収入、資産価値、利便性向上、②長期的一期待的利益
- 2) 支配欲・権威欲 財政支出への働きかけ、財政配分
- 3) 生活の向上 ドップ板、道路、橋、保育園などの政治要求とその反応、
- 4) 安全欲求 自然災害の回避・防御、人為災害の排除と対策

4 都市の制御は必要か——都市は誰のものか（個人を守るためにも全体システム）

- 1) 全体システムとして維持できなければ、生活は維持できず、環境も破壊される
- 2) インフラの崩壊、弱肉強食、利害衝突の混乱、破壊暴力・環境無視からの防御
- 3) 都市の記憶の維持、自然的要素の保全と再生が必要——都市環境

5 都市の制御は可能か——都市として機能させ維持してゆく条件？

- 1) 都市の人間集団が、全体を維持させる集団意志をもち、制御システムをもつこと
- 2) 「計画不要論」もいわれたが、それは現状計画の誤りの指摘である。
- 3) 制御に個々の都市住民も、自分たちの必要性を認識し、そこに加わる必要がある

6 都市の制御の認識——都市環境=自然環境+人工環境+社会環境(意識、制度)

- 1) 異質で多様なモノの集積 + 異質で多様な人間の集積 の共存を前提に、全体をシステムとして成立・維持してゆく都市の意志
- 2) 都市の運動 = 自然の法則 + 生物の行動 + 人間の欲望 + 権力の欲望
個別の欲望・要請と長期に全体を維持向上させる矛盾の解決
- 3) 動態としての都市の総合的な把握と、適切な手段が可能なシステム
- 4) 意志を組織的に実現させる「都市政策」と実行手段としての「計画」や「ルール」

7 都市制御の手段

- 1) 慣行的制御
- 2) 権威的制御 祭司 哲人
- 3) 権力的制御 上からの力、強制力、統治力
- 4) 誘導的制御 利益誘導、報償、名誉
- 5) 内発的集団制御 自治機構、政策機構、生きがい